

春夏秋冬、  
お好きな季節の恋物語を  
あなたに届けたい。

\*一冊で季節をひとめぐり  
したい方はこちら!

# 四季恋恋

命の在り方



『君の臓腑を食べたい』

(住野よる／著 双葉社)

クラスメイト、山内桜良の余命を知ってしまった僕。一日一日を大切に生きる彼女と曖昧に日々を過ごす僕。正反対な二人で過ぎていくうちにお互いを意識し始める。生きることについて考える二人の不器用な恋が描かれた作品。

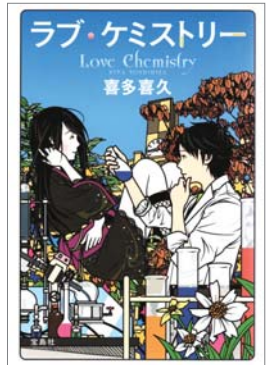
(宇都宮海星女子学院高 Sさん)

『ラブ・ケミストリー』

(喜多喜久／著 宝島社)

そう言って、自称死神のカロンは恋愛経験ゼロの藤村の前に現れる。藤村の恋が叶うことで誰かの未練がなくなり、藤村が自身の能力を取り戻せるというのだ。タイム・リミットはクリスマス! 東大農学部の院生が本気で恋をします。衝撃のラストは見逃さない!

(宇都宮北高 Mさん)



忘れられない人がいる



『初恋は坂道の先へ』

(藤石波矢／著 KADOKAWA メディアファクトリー)

小学校の教師をしている研介。その恋人である品子のもとに一冊の本が届くと彼女は失踪してしまった…。

初恋と小説が繋げる不思議な出会い。鮮やかな夏の描写と思春期の心の細やかな描写が綺麗な恋愛物語です。

※著者は栃木県ゆかりの方です。

こうばしい日々  
江國香織



甘くて、切なくて

『こうばしい日々』

(江國香織／著 新潮文庫)

恋に遊びに忙しいアメリカ育ち、11歳の男子と、婚約した姉の元恋人に想いを寄せる日本の女の子の恋模様を綴った二編。

子ども目線だからこそ描くことができる、大人になる前の繊細さと甘酸っぱさに、ほんのりと心が温まる一冊。

(小山高 Hさん)



『スノウ・ティアーズ』

(梨屋アリエ／著 角川書店)

不思議なことが君枝に降り注ぐ。幼馴染みの陸はそれを「不思議体質」と呼んだ。君枝は「不思議体質」なんて望んでいない。あの冬も、その冬も、今でさえも。不思議と恋と冬が絡み合う、栃木県出身の梨屋アリエが贈る奇妙なラブストーリー。

(宇都宮北高 Mさん)

気づいた冬には菌車が  
狂いすぎていた…